SH1500T1
SH1500TF
SH1500F1
スイッチングハブ

取扱説明書

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をお読みください。
- お読みになった後は本書を必ず保管し、必要に応じてお使いください。

FUJITSU

⚠ 注意

感 電　内部には高電圧部分があり、感電するおそれがあります。
ケースを開けないでください。

廃棄上の留意点

破裂や、有害物質発生のおそれがあります。廃棄する場合は、火中投入をしないでください。

本製品の保守部品の供給期間は、製造終了後６年間とさせていただきます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

All Rights Reserved.Copyright © 富士通株式会社 1997

はじめに

このたびは、ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）の取り扱いの、基本的なことについて説明しています。

梱包物を確認してください

- ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）
- 取扱説明書（本書）
- ラック取付け金具：２個
- 取付け金具用ねじ：６個
- 検査合格証
- モジュラ／ＳＣコネクタ保護カバー

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますが、お買い求めの販売店までお申し付けください。

安全上のご注意

本書では人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に使用していただくために守っていただきたい事項を示しています。

次の表示と図記号の意味・内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠警告	この表示事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全図記号の意味

図記号	図記号の意味
⚠	**○○注意**：注意事項を示しています。この注意を無視した場合、傷害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
⚠	**感電注意**：誤った取り扱いをすると、感電する可能性が想定されることを示しています。
⚠	**視力障害**：レーザ光の光源を直接見ることの禁止を示しています。直接見ることにより、視力障害の可能性が想定されることを示しています。
⊘	**分解禁止**：装置の分解・改造することの禁止を示しています。装置の分解・改造により、傷害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
⊘	**水場禁止**：水分の多い場所での使用禁止を示しています。水場での使用により、傷害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
⊘	**接触禁止**：装置等の物に触れることの禁止を示しています。触れることにより傷害の可能性が想定されることを示しています。
⊘	**○○禁止**：禁止行為を示しています。この禁止行為をすることにより、傷害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
●	**プラグを抜け**：電源プラグをコンセントより抜くことを指示しています。
●	**アースせよ**：装置を必ずアースに接続することを指示しています。
●	**○○せよ**：指示行為を示しています。使用者に行って頂きたい行為を示しています。

△　記号は**注意（警告を含む）事項**を示しています。
⊘　記号は**禁止行為**を示しています。
●　記号は**使用者への行為の強制・指示**を示しています。

■安全上の注意

⚠ 警告

プラグをコンセントから抜け	◆発煙への対処 万一、煙がでている、へんな臭いがするなどの異常がありましたら使用を直ちに中止すること。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、煙などの異常が出なくなるのを確認して販売店などに修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
禁止	◆電源ケーブルの取り扱いに注意してください 電源ケーブルを傷つけ、破損、加工、無理な曲げ、引っ張り、ねじり、束ねたりしないこと。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
接触禁止 プラグをコンセントから抜け	◆雷では装置に触れないでください 近くに雷が発生したときは、装置本体に触れないこと。また、電源ケーブル・プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電、故障の原因となることがあります。
禁止	◆医療、航空宇宙、列車、輸送、原子力等の制御設備へは使用しないでください 医療機器、航空宇宙機器、運送、原子力の制御設備などの人命に関わるシステムへの使用は意図しておりません。

⚠ 注意

異物禁止 プラグをコンセントから抜け	◆異物や液体が装置内部に入った場合の対処 装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、水などの液体を入れないでください。万一、異物や液体が入った場合は、まず電源ケーブル・プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。そのまま使用すると、感電、故障の原因となります。
異物禁止	◆コネクタ部に異物を差し込まないでください インタフェースコネクタに適合するコネクタ以外のものを絶対に差し込まないこと。感電、故障の原因になります。

分解禁止	◆分解・改造しないでください 装置の蓋を開けたり、分解、改造しないこと。怪我、感電、故障の原因となります。本装置の分解、改造による怪我や事故について、当社は責任を負いかねます。
アースせよ 感電注意	◆必ずアースを接続してください 万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ず装置のアースを接続すること。 アースは電源ケーブルにより設置工事（第３種）が行われている接地端子付き電源コンセントへ接続してください。
AC100V以外禁止	◆国内のみで使用してください 本装置は日本国内の商用ＡＣ１００Ｖ電源仕様です。海外では使用できません。ＡＣ１００Ｖ以外では絶対に使用しないでください。また、電源の分岐によるタコ足配線はやめてください。火災、感電の原因になります。
固定せよ	◆装置を固定してください 本装置を高所に設置する場合は、落下を防ぐため装置の固定を行うこと。固定を行わないと落下による怪我、破損の原因になります。
配線注意	◆ケーブルの処置について 本装置に接続する通信ケーブル／コード類は足などを引っかけないように適切な引き回し配線、固定など処置を行ってください。転倒による怪我、破損の原因になります。
接触注意	◆濡れた手での操作は避けてください 濡れた手で電源ケーブル・プラグを抜き差ししないでください。また、装置に触らないでください。感電の原因となることがあります。
接触注意	◆高温下、低温下では触らないでください 本装置は金属きょう体を使用しています。高温下や低温下で放置した場合などは装置に直接触らないでください。火傷や凍傷の原因となることがあります。
接触注意	◆金属アレルギーの方は触らないでください 本装置のきょう体やネジ、コネクタ部には、亜鉛、ニッケル、すず、金などのメッキが施されています。これらの金属に対してアレルギー反応を示す方は直接触るのを避けてください。湿疹、かぶれの原因となることがあります。
幼児注意	◆幼児の手の届かない場所に置いてください 本装置に添付されているダストカバーを取り外した場合など幼児が飲み込まないように注意してください。また、装置開梱後の包装ポリ袋を幼児がかぶって窒息などしないように注意してください。
視力障害	◆光ファイバーケーブルの光源を直接見ないでください 光ファイバーケーブルの光源を目に向けないでください。目に障害をおこす原因となることがあります。

■使用上の注意

⚠ 注意

上積み禁止	◆装置上に直接物を置かないでください 本装置の上に物を載せないでください。また、本装置を直接積み重ねてのご使用は避けてください。故障の原因となることがあります。
近傍設置禁止	◆ラジオやテレビの近くに置かないでください 本装置をラジオやテレビのそばで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が入ることがありますので注意してください。
活線挿抜禁止	◆通信ケーブルの接続／切断は電源ＯＦＦにて行ってください 本装置への通信ケーブル類は活線挿抜しないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず本装置または相手装置の電源がＯＦＦ状態にて行ってください。感電、故障の原因になることがあります。
引っ張り禁止	◆ケーブルを強く引っ張らないでください 装置に接続したケーブル類を無理に引っ張らないでください。また、電源は必ず電源ケーブルのプラグを持って抜き差ししてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、障害の原因になります。
冗長設計せよ	◆冗長設計・安全設計をしてください 本装置を、高度な信頼性を必要とするシステムに使用する場合は、冗長設計、誤動作防止設計など充分な安全設計を必ず行ってください。本装置の故障、障害により生じるいかなる損害、事故について当社は責任を負いかねます。
ほこり注意	◆長期間使用しないポートの処置について 長期間使用しないインタフェースポートは、埃などが入らないようにしてください。接触不良などの原因になります。
薬品注意	◆お手入れについて 汚れはやわらかい布によるからぶきか、水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど（揮発性のもの）の使用は避けてください。また、殺虫剤などの薬品がかからないようにしてください。
廃棄注意 不法投棄禁止	◆本装置の廃棄は、産業廃棄物として処理してください 本装置を廃棄するときは、産業物処理法に基づき産業廃棄物として管理型処分場へ廃棄処理してください。不法投棄はおやめください。 また、梱包材についてはリサイクルまたは各自治体における適切な処分を行ってください。
使用中止	◆故障、破損時の処置について 本装置が故障もしくは破損した場合は、速やかに使用を中止して販売店などに修理依頼してください。そのまま使用しますと火災、感電、怪我の原因になる恐れがあります。

■設置・使用条件

⚠ 注意

電源注意	◆正しい電源条件で使用してください 電源電圧　：　ＡＣ１００Ｖ±１０％ 電源周波数　：　５０／６０Ｈｚ　＋２％，－４％ 消費電力　：　４３Ｗ（Ｔ１，ＴＦ） ７１Ｗ（Ｆ１）
温度・湿度注意	◆適切な温度・湿度条件で使用してください 温度　：　＋５℃～＋４０℃ 湿度　：　２０％～８０％（結露しないこと）
高温・低温使用禁止	◆高温・低温では使用しないでください 極端な高温、あるいは低温状態や温度変化の激しい場所には設置、使用しないでください。故障の原因になります。 本装置の使用温度範囲を守ってください。
高温設置禁止	◆温度の高いところへの設置は避けてください 直射日光の当たる場所や発熱機器（ストーブ、コンロなど）、火気のそばでは使用しないでください。故障の原因になります。
水場使用禁止	◆水場では使用しないでください 水場など水のかかりやすく、湿気の多い場所では使用しないでください。本装置は防水処置はされておりません。感電、故障の原因になります。本装置の使用湿度範囲を守ってください。
塵埃環境使用禁止	◆埃の多い場所では使用しないでください 床や窓の近くなどほこりの多い場所では使用はしないでください。 コネクタの接触不良など故障、感電の原因になります。
不安定場所設置禁止	◆安定した場所へ設置してください 本装置をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。また、強い衝撃や振動の加わる場所での使用は避けてください。落下による怪我、破損、故障の原因になります。
垂直設置禁止	◆垂直に立てた状態での使用は避けてください 本装置を垂直に立てた状態または、立てかけた状態で使用しないでください。垂直設置は通気孔をふさぐことになり、障害や故障の原因になります。 また、転倒による怪我、破損、故障の原因になります。
ガス環境使用禁止	◆特殊環境での使用は避けてください 本装置を薬品の噴霧気中や薬品にふれる場所などガス発生環境下では使用しないでください。腐食などによる破損、故障の原因になります。

強磁界環境 使用禁止	**◆強磁界が発生する場所では使用しないでください** 本装置をモータや大電流ケーブルなど、強い磁界を発生する機器のそばでの使用は避けてください。外来ノイズにより誤動作や故障の原因になります。
通気性注意	**◆通気孔を塞がないでください** 本装置は内部の熱を逃がすため、両側面および後面に通気孔が設けてあります。通気孔をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。通気孔をふさぐと装置内に熱がこもり障害や故障の原因になります。
エリア確保	**◆サービスエリアを設けてください** 本装置の通気孔の確保およびケーブル処理に必要な空間をとってください。装置を並べて使用する場合でも各々に必要なサービスエリアを設けてください。ケーブルの障害や故障の原因になります。
搬送注意	**◆装置の搬送について** 本装置の設置時や移設の際は、装置の両側を両手でしっかりと持ってください。片手で持つなどした場合、手がすべり落下などして怪我や破損しないように注意してください。

目　次

1. 概　要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1.1　特　長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1.2　機　能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1.3　仕様・外観 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2.1　ハブユニット単独で使用する場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. システム構成例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3.1　小規模システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3.2　中規模システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4. 表示・操作・トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4.1　表示機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4.2　操作機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
4.3　トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5. 環境条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5.1　電気的条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5.2　環境条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5.3　設置条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

1. 概　要

1.1　特　長

1.1.1　ＳＨ１５００Ｔ１

ＳＨ１５００Ｔ１は、１００ＢＡＳＥ－ＴＸまたは、１０ＢＡＳＥ－Ｔを接続するスイッチングハブです。

本装置の特長は以下の通りです。

(1)　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔポートを８ポート持っています。
全てのポートは設定により１００ＢＡＳＥ－ＴＸ半二重、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ全二重、１０ＢＡＳＥ－Ｔ半二重、１０ＢＡＳＥ－Ｔ全二重に接続が可能です。
１００ＢＡＳＥ－ＴＸポートの８ポート目は、スイッチ切り換えによりカスケード接続（多段接続）が可能です。

(2)　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔポートは、ＩＥＥＥ８０２．３ｕに準拠しています。

(3)　ＬＳＩ使用により、小型　軽量　低消費電力を実現しています。

(4)　ツイストペアケーブルは１００ｍまで接続できます。

1.1.2　ＳＨ１５００ＴＦ

ＳＨ１５００ＴＦは、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ、１０ＢＡＳＥ－Ｔ、１００ＢＡＳＥ－ＦＸを接続するスイッチングハブです。

本装置の特長は以下の通りです。

(1)　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔポートを７ポート持っています。
設定により、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ半二重、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ全二重、１０ＢＡＳＥ－Ｔ半二重、１０ＢＡＳＥ－Ｔ全二重に接続が可能です。

(2)　１００ＢＡＳＥ－ＦＸポートを１ポート持っています。
設定により、１００ＢＡＳＥ－ＦＸ半二重、１００ＢＡＳＥ－ＦＸ全二重に接続が可能です。

(3)　１００ＢＡＳＥ－ＦＸポートは、ＩＥＥＥ８０２．３ｕに準拠しています。

(4)　ＬＳＩ使用により、小型　軽量　低消費電力を実現しています。

(5)　ツイストペアケーブルは１００ｍまで接続できます。

(6)　光ファイバケーブルは、全二重設定時は２ｋｍ、半二重設定時は４１２ｍまで接続できます。

1.1.3　SH1500F1

SH1500F1は、100BASE－TX、10BASE－T、100BASE－FXを接続するスイッチングハブです。

本装置の特長は以下の通りです。

(1) 100BASE－TX／10BASE－Tポートを2ポート持っています。
設定により、100BASE－TX半二重、100BASE－TX全二重、10BASE－T半二重、10BASE－T全二重に接続が可能です。

(2) 100BASE－FXポートを6ポート持っています。
設定により、100BASE－FX半二重、100BASE－FX全二重に接続が可能です。

(3) 100BASE－FXポートは、IEEE802．3uに準拠しています。

(4) LSI使用により、小型　軽量　低消費電力を実現しています。

(5) ツイストペアケーブルは100mまで接続できます。

(6) 光ファイバケーブルは、全二重設定時は2km、半二重設定時は412mまで接続できます。

1.2　機　能

SH1500（T1，TF，F1）の主な機能は以下の通りです。

(1) ストアアンドフォワードによりスイッチングを行います。

(2) 装置全体で8kMACアドレスの学習を行います。

(3) 各ポートにおいて、148810パケット／秒の性能を持ちます。

(4) 全てのポートは、全二重・半二重の設定が可能です。

(5) 内部バスは、パリティチェックを行いデータ転送の信頼性を向上させています。

1.3　仕様・外観

ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）の仕様を表１－１に、外観を図１－１，図１－２，図１－３に示します。

表１－１　ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）仕様

項目		仕様			備考
		Ｔ１	ＴＦ	Ｆ１	
準拠規格		ＩＳＯ８８０２－３ ＩＥＥＥ８０２．３ｕ			
ポート数	8ﾋﾟﾝﾓｼﾞｭﾗｺﾈｸﾀ	8	7	2	
ポート数	SC型　ｺﾈｸﾀ	0	1	6	
外観寸法		440(W)x230(D)x50(H) mm			

ＩＥＥＥ：Institute of Electrical and Electronics Engineers
米国電気電子技術者協会の略称
ＩＳＯ：International Organization for Standardization
国際標準化機構の略称

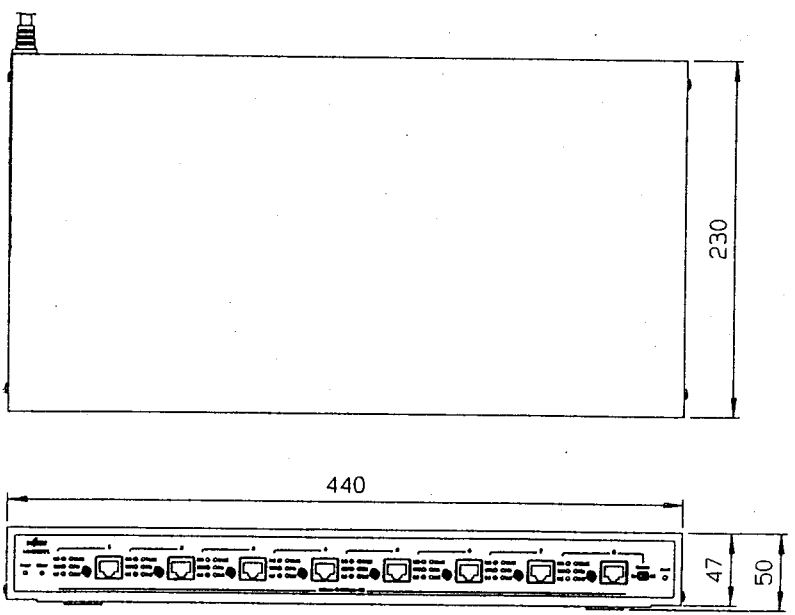


図１－１　ＳＨ１５００Ｔ１外観図

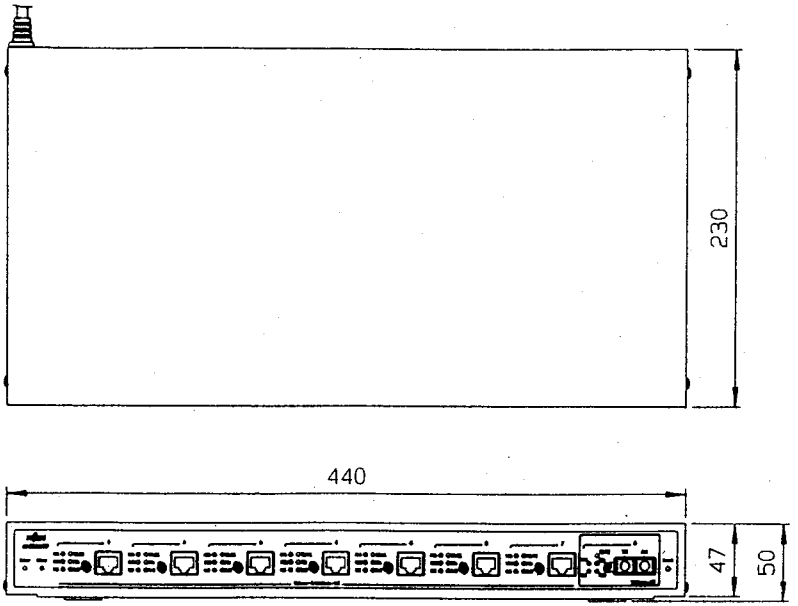


図1－2　SH1500TF外観図

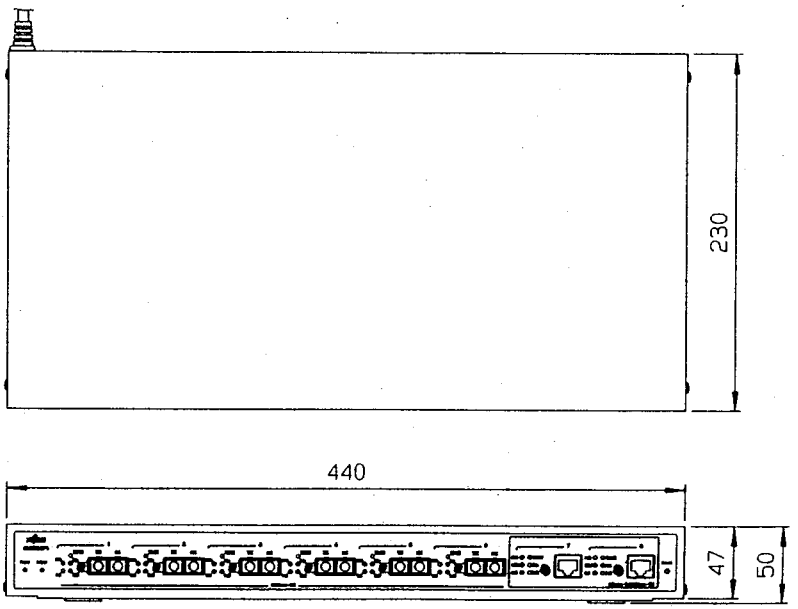


図1－3　SH1500F1外観図

2. 接続方法

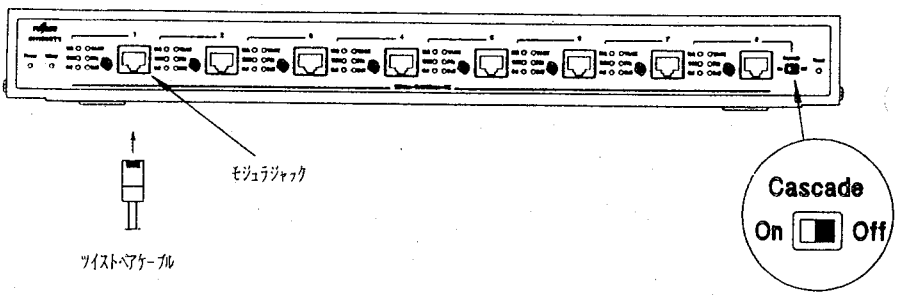
2.1　スイッチングハブ単独で使用する場合

(1) ツイストペアケーブルの接続

①モジュラジャックのダストカバーを取り外します。

②ツイストペアケーブルをモジュラジャックに完全に差し込んでください。

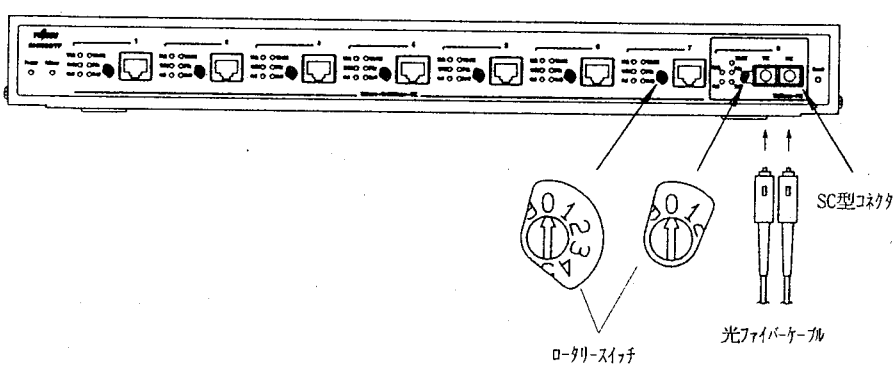
③ＳＨ１５００Ｔ１の８ポート目は、ＣＡＳＣＡＤＥ　ＳＷの設定を正しく行ってください。



(2) 光ファイバーケーブルの接続（ＳＨ１５００ＴＦ，ＳＨ１５００Ｆ１）

①ＳＣ型コネクタのダストカバーを取り外します。

②光ファイバーケーブルをＳＣ型コネクタに完全に差し込んで下さい。

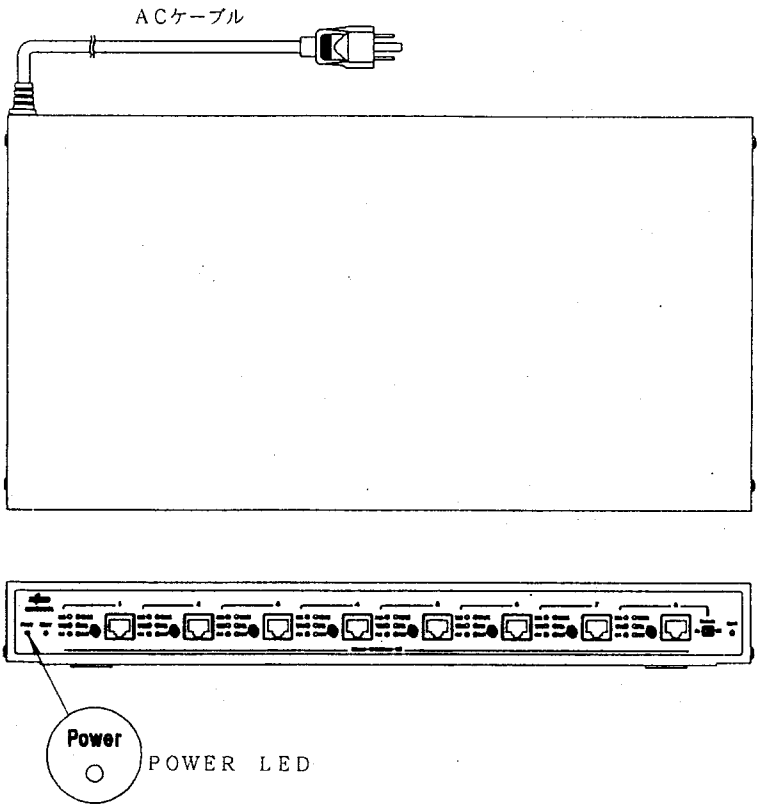


⚠ 注意

●光ファイバーケーブルの接続は、本装置と相手側光源の電源を切った状態で行ってください。光ファイバーケーブルの光源を目に向けると、目に障害をおこす原因となることがあります。

(3) 電源ケーブルの接続

① 本装置には、電源スイッチがありません。ＡＣケーブルのプラグをＡＣ１００Ｖコンセントに差し込むと、装置の電源が投入されます。POWER のＬＥＤが点灯していることを確認してください。



⚠注意

●装置のアースを必ず接続してください。アースを接続しないと、感電の原因となります。

●使用するコンセントの形状が電源ケーブルのプラグと合わない場合は、変換プラグをご用意ください。安全上、変換プラグのアース線は必ず設置接続してください。感電の原因となります。

3. システム構成例

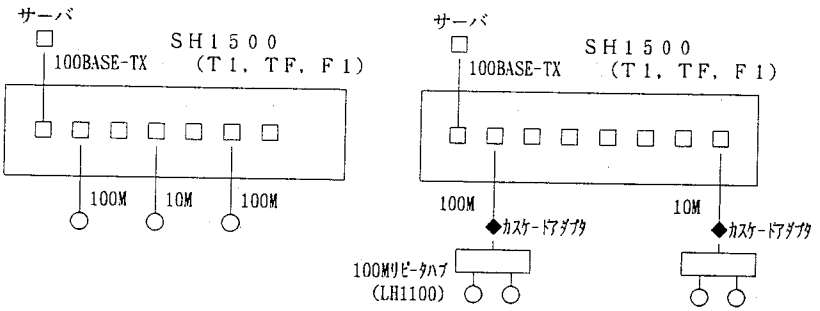
3.1 小規模システム

・ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）を中心とした、スター型の配線。

・トラフィックが集中するサーバは、１００Ｍｂｐｓで接続。

・クライアントは、ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）に直接接続することにより、１０Ｍｂｐｓまたは１００Ｍｂｐｓを専有。

・１００Ｂａｓｅ－ＴＸリピータハブを、カスケードアダプタ（Ｆ９１９０ＨＣ５）でカスケード接続することにより、グループで１００Ｍｂｐｓを共有。



注）◆はカスケードアダプタを表します。
カスケードアダプタは、Ｆ９１９０ＨＣ５をご使用ください。

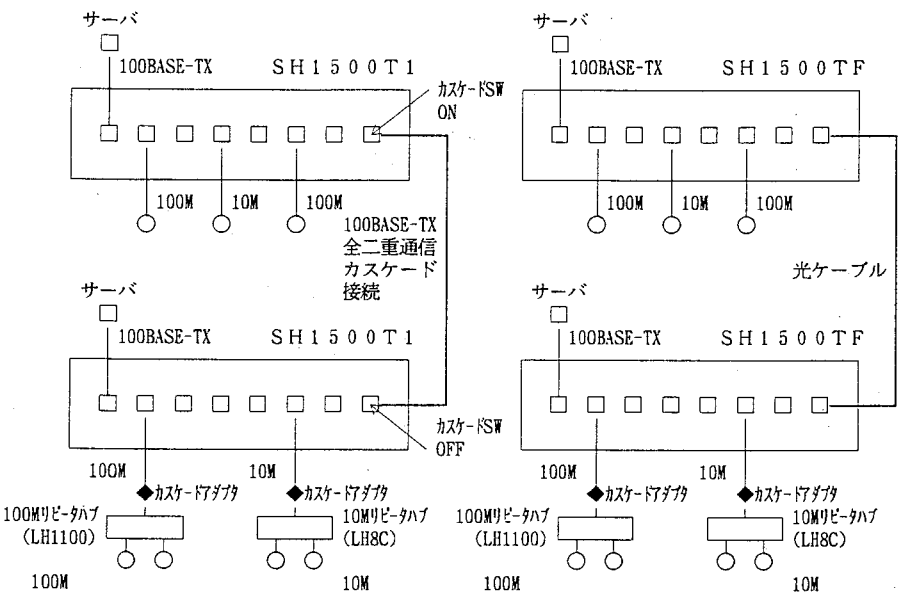
3.2　中規模システム

・１００ＢＡＳＥ－ＴＸポートまたは１００ＢＡＳＥ－ＦＸポートで、
ＳＨシリーズを４台までカスケード接続することができます。
ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）間は、１００ＢＡＳＥ－ＴＸポートまたは
１００ＢＡＳＥ－ＦＸを全二重通信（Ｆｕｌｌ　ｄｕｐｌｅｘ）に設定することにより
２００Ｍｂｐｓの帯域幅で接続することができます。

・クライアントは、ＳＨ１５００（Ｔ１，ＴＦ，Ｆ１）に直接接続することにより
１０Ｍｂｐｓまたは１００Ｍｂｐｓを専有。

・１０ＢＡＳＥ－Ｔリピータハブをカスケード接続することにより、グループで
１０Ｍｂｐｓを共有。

・１００ＢＡＳＥ－ＴＸリピータハブをカスケード接続することにより、グループで
１００Ｍｂｐｓを共有。



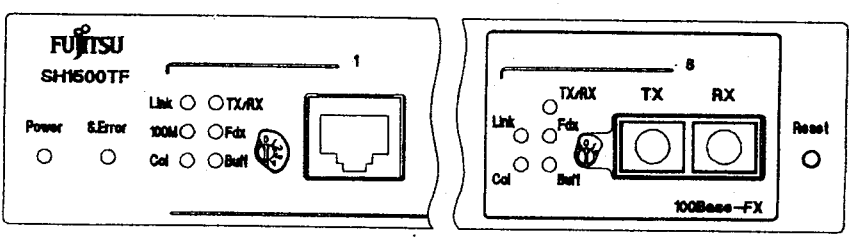
注）◆はカスケードアダプタを表します。
カスケードアダプタは、Ｆ９１９０ＨＣ５をご使用ください。

4. 表示・操作・トラブルシューティング

4.1 表示機能

表示機能を以下に示します。

機能	表示文字	ＬＥＤ色	表示	機　能　概　要
電源表示	Power	ミドリ	点灯	電源が投入されていることを示します。
			消灯	電源が未投入であることを示します。
ｼｽﾃﾑｴﾗｰ表示	S.Error	アンバ	点灯	内部バスでパリティーエラーが二回続けて発生したことを示します。
ﾘﾝｸﾃｽﾄ表示（各ﾎﾟｰﾄ）	Link	ミドリ	点灯	リンク状態を示します。
			消灯	ﾘﾝｸﾃｽﾄﾌｪｲﾙ状態を示します。
100Mﾘﾝｸ表示（各ﾎﾟｰﾄ）	100M	ミドリ	点灯	100Mbps で送受信することを示します。オートネゴシエーション設定時はオートネゴシエーション終了後100Mbps に設定された時のみ点灯します。
ｺﾘｼﾞｮﾝ表示（各ﾎﾟｰﾄ）	Col	ミドリ	点灯	コリジョンが発生していることを示します。
送受信表示（各ﾎﾟｰﾄ）	TX/RX	ミドリ	点灯	送受信があることを示します。
全二重表示（各ﾎﾟｰﾄ）	Fdx	ミドリ	点灯	全二重で送受信することを示します。オートネゴシエーション設定時はオートネゴシエーション終了後全二重に設定された時のみ点灯します。
ﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ表示（各ﾎﾟｰﾄ）	Buff	ミドリ	点灯	受信バッファが一杯になっていることを示し、この状態での受信パケットは破棄されることを示します。

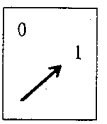


4.2　操作機能

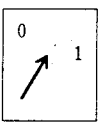
操作機能を以下に示します。

機能	ｽｲｯﾁ形状	ﾛｯｸ/ﾉﾝﾛｯｸ	機　能　概　要	
リセット	押しボタン	ﾉﾝﾛｯｸ	本スイッチの操作により、表示系保持回路、エラーによるリセット状態保持回路、ＭＡＣアドレスの登録回路がリセットされます。	
接続形態選択	ロータリースイッチ	ﾛｯｸ	10BASE-T/100BASE-TX ポート	
			0	オートネゴシエーション
			1	100BASE-TX半二重
			2	100BASE-TX全二重
			3	10BASE-T半二重
			4	10BASE-T全二重
			100BASE-FX　ポート	
			0	100BASE-FX半二重
			1	100BASE-FX全二重
カスケード	スライドスイッチ	ﾛｯｸ	ｽｲｯﾁＯＮでｸﾛｽｵｰﾊﾞｰﾌｧﾝｸｼｮﾝを行わず、ｽｲｯﾁＯＦＦでｸﾛｽｵｰﾊﾞｰﾌｧﾝｸｼｮﾝを行います。	

注）・ロータリースイッチによる設定は、マイナスの精密ドライバーなどで、０～４のそれぞれの設定箇所に正確に合わせてください。
10BASE-T/100BASE-TX ポートで５～９の設定や、100BASE-FXポートで２～９の設定にはしないでください。



ＯＫ



ＮＧ

・ロータリースイッチによるポートスピードを変更する場合、設定を有効にするには、装置をリセットする必要があります。

・リセットする場合は、システムに影響があるので、通信を止めて行ってください。

・10BASE-T/100BASE-TX ポートでロータリースイッチの設定をオートネゴシエーションにした場合、接続相手がオートネゴシエーション設定でなければ、全二重の設定は、半二重となります。
全二重に設定したい場合は、２または４のスイッチを選択してください。

4.3　トラブルシューティング

ご使用中に何らか異常が発生し、修理を依頼する前に以下の項目の確認をお願いします。確認後も正常に動作しないときは、販売店にお持ちくださるか、弊社サービスマンにご連絡ください。

電源が入らない場合

(1) 電源プラグがコンセントに接続されていますか。

(2) コンセントにはＡＣ１００Ｖが供給されていますか。

全ポートの通信ができない場合

(1) モジュラが正しく接続されていますか。

(2) ツイストペアケーブルに断線、ショートはありませんか。

(3) 対向するノードのリンクテストが正しく実施されていますか。

> **注)** 接続するワークステーション類のトランシーバは、
> リンクテスト付を使用して下さい。
> （リンクテスト無のトランシーバをご使用になると
> ツイストペアポートの表示が消灯します）

特定のポートが通信できない

通信できないワークステーションに接続されているハブユニットのポートを、通信可能なポートに接続を変更して下さい。

・ポートを変更したことにより、通信が可能になった場合は、ハブユニットの故障です。

・ポートを変更しても通信しない場合は、ツイストペアケーブルの不良またはワークステーションの故障が考えられます。

カスケード接続を行って通信ができない

ロータリースイッチの設定がオートネゴシエーションの場合

・固定設定（100BASE-TX全二重、100BASE-TX半二重、10BASE-T全二重、10BASE-T半二重）による再設定を行ってください。

5. 環境条件

5.1　電気的条件

電源電圧	AC100V±10%
周波数	50／60Hz　+2%，−4%
消費電力	43W（T1，TF） 71W（F1）
ACコード	3Pストレート 1.8m（装置直接接続）

5.2　環境条件

下記環境下でご使用ください。

温度	動作時	5～40℃	結露しないこと
	休止時	0～50℃	
湿度	動作時	20～80%	
	休止時	8～90%	
浮遊塵埃		0.15mg／m³ 以下	

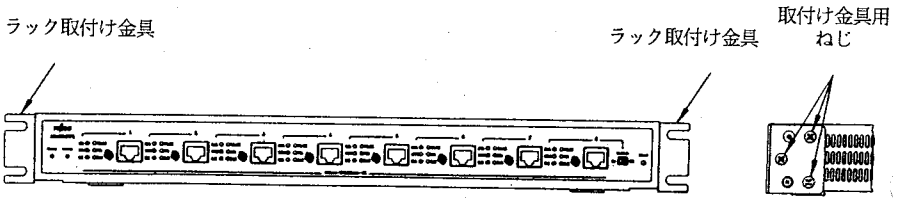
⚠注意

●落雷の多い地方やモータ等の近くで本装置を使用する場合は、電源ラインや各信号ラインに対してサージ保護機器を接続してください。過度の外来サージは故障の原因となります。

5.3　設置条件

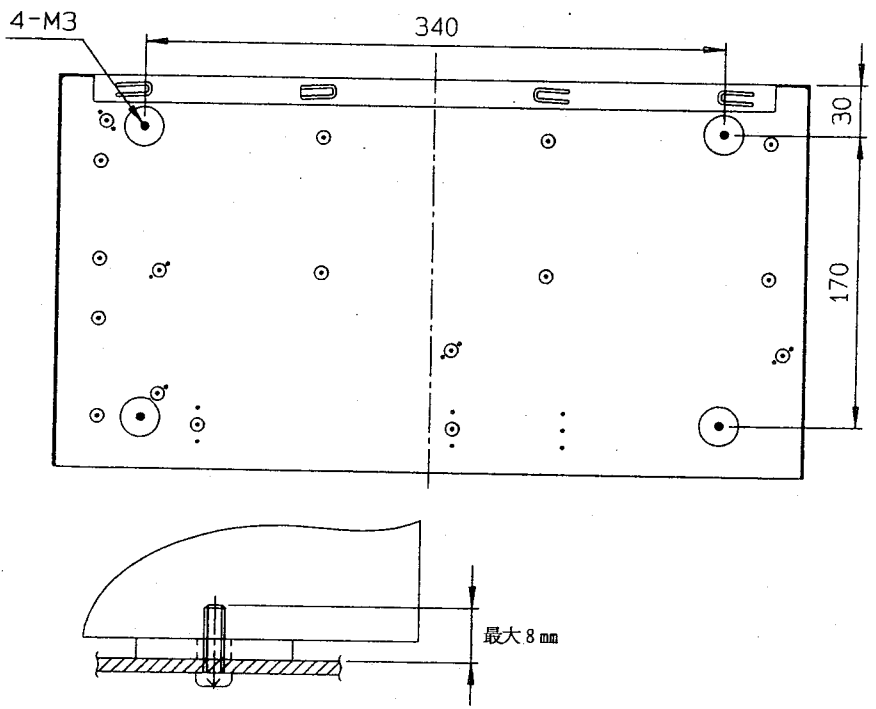
(1) 本装置を設置するときは水平設置とし、安全で平らな表面の上に置くか、付属のラック取付け金具を付属のねじで本装置に取付け、ＥＩＡ１９インチラックに固定してください。

また、本装置の垂直設置や、立てかけた状態でのご使用はおやめください。



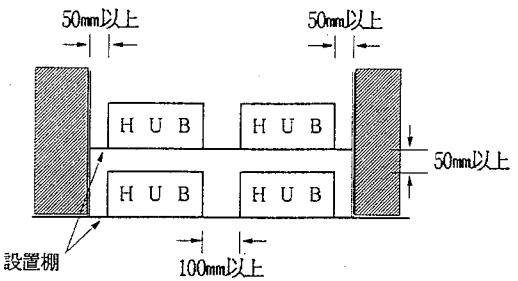
(2) 振動対策用として本装置底面のゴム足部に設けたねじ穴（Ｍ３）４箇所が利用できます。

ただし、設置面よりねじのとび出す長さは最大８㎜です。



(3) 本装置を設置するときは、壁側より 50mm 以上の間隔をあけてご使用ください。

また、本装置を上下に重ねて設置する場合は、図のように 50mm 以上の間隔をあけて、さらに、本装置をならべて設置する場合は、図のように100mm 以上の間隔をあけてご使用ください。



付録

1. １００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔインタフェース

(1) 接続コネクタ

８ピンモジュラジャック（ＩＳＯ８８７７）

(2) 端子対応

ピンNo.	信号
1	ＲＤ＋
2	ＲＤ－
3	ＴＤ＋
4	未使用
5	未使用
6	ＴＤ－
7	未使用
8	未使用

2. １００ＢＡＳＥ－ＦＸインタフェース

(1) 接続コネクタ

ＳＣ型

(2) 端子対応

・ＴＸ

・ＲＸ

ハブユニット(SH1500T1, SH1500TF, SH1500F1)

取扱説明書　1版

発行日　1997年10月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

●本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。

●無断転載を禁じます。

●落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

M-E-97120

FUJITSU